

ふれあい記録

実施日：平成 28 年 6 月 10 日

当番者名 小俣悦男 中山 博

コース名：独自コース 38 番 「生藤山(標高 990.3m)」 (通し番号 第 120 回)

天 候：晴れ

参加者名：相川 勲、小俣悦男、笠井欣三、神谷順子、功力満紀子、熊谷信雄、柴崎幸治、新海 昭、中山 博、根本邦子、細矢清志、堀井克子、宮原さち子、宮原宏至、山奥利光
<ビジター>小松佐恵子、船橋エイ子
計 17 名 (内、男性 10 名 女性 7 名) (五十音順)

交通(時刻) <往路>：JR 東神奈川駅 6：32 発 ⇒ 八王子駅 7：34 発 ⇒ 高尾駅 7：47 発 ⇒ 上野原駅 8：05 着<準備体操>上野原駅前 8：30 発 ⇒ 石楯尾神社バス停 8：50 着
<復路>：井戸バス停 14：39 発 ⇒ 上野原駅 14：58 着。JR 上野原駅 15：06 発 ⇒ 八王子駅 15：42 発 ⇒ 横浜駅：16：41 着。

コースタイム：石楯尾神社 9：00 発 ⇒ 甘草水 10：20 着 ⇒ 三国山 10：43 着 ⇒ 生藤山 10：55 着 ⇒ 三国山へ戻る 11：05 着(昼食)11：40 発 ⇒ 熊倉山 12：20 発 ⇒ 女坂分岐点 12：45 発 ⇒ 軍刀利神社⇒13：45 発 ⇒ 井戸バス停 14：10 着(オレンジタイム)

みどころ：○軍刀利神社は 1049 年建立で「日本武尊」を御祭神としており、奥の院脇のかつらの大木や華麗な本殿、奉納された長さ 5m 位ある巨大な剣、ながくデコボコして登りづらい、よって下りづらい石段などから荘厳さとエネルギーを感じ取れた。
○生藤山、三国山山頂からの富士の眺望。この日は雲がかかっており、残念ながら富士山頂がほんの僅か見えただけだった。一方で三つ峠は良く見えた。

自然観察：○樹林帯がコースの 80% を占める。主に昭和 35 年頃に植林された杉などの木々は良く手入れされ、この時期は日除けの役目をしてきており、気持ちの良い山行が出来た。

○以下の花々が楽しめた。

コアジサイ・レンゲ・フタリシズカ・マムシグサ・ヤマツツジ・ウリノキ・ニガナ。

特記事項：○生藤山のいわれ：神奈川県最北の山。この すぐ西に三国山(みくにやま)があり、相模、甲斐、武蔵の三国が接している。ここは昔から境界紛争が絶えなかった。そのため生藤山付近では、境界をはっきりさせる為、木々の伐採をしない「切り止め」があったといわれており、それがいつしかキット山となり、生藤(キット)の字が当てられ、生藤山と呼ばれるようになったと、伝えられている。

○雨の為に一日延期し翌日の 10 日(金)に実施したことで、好天に恵まれ絶好の登山日和であった。